

PPP/PFI手法簡易定量評価調書

検討事業名：琉球病院給食棟新築等整備

	従来型手法 (公共施設等の管理者が自ら整備等を行う場合)	採用手法 (候補となるPPP/PFI手法)
費用総額	34.1億円	35.3億円
財政支出削減率		VFMは-1.1億円 -3.3%
その他 (前提条件等)	事業期間25年間 割引率2.6%	

PPP/PFI手法簡易定量評価調書記載の根拠

(1) 従来型手法による場合の費用の算定根拠

公共施設等の整備等(運営等を除く。)の費用	基本構想、基本計画等において想定されている施設の設計、建設に要する額
公共施設等の運営等の費用	基本構想、基本計画等において想定されている施設の運営等に要する額
利用料金収入	該当しない
資金調達に要する費用	借入金等により公共施設等の管理者等が自ら資金調達を行なった場合の費用
調査に要する費用	算入しない
税金	算入しない
民間事業者の適正な利益及び配当	算入しない

(2) 採用手法を導入した場合の費用の算定根拠

公共施設等の整備等(運営等を除く。)の費用	従来手法の100%
公共施設等の運営等の費用	従来手法の100%
利用料金収入	該当しない
資金調達に要する費用	公共施設等の管理者等が自ら資金調達をした場合における金利に0.5%ポイントを上乗せした額
調査に要する費用	2,500万円と仮定
税金	損益×32.11%(平成27年度法人実効税率)
民間事業者の適正な利益及び配当	資本金の額:1,000万円と仮定 EIRR:5%

(3) その他の仮定

事業期間	基本構想、基本計画等において想定されている期間
割引率	2.6%